

第9回横浜シーサイドトライアスロン大会 スイム TO 業務要項

役割及び業務概要（配置については配置一覧を参照）

役割	業務概要
チーフ	<ul style="list-style-type: none">・競技進行の全体監視と緊急対応・グループ毎の競技開始終了連絡・スイムスキップ選手およびリタイア選手の連絡
サブチーフ	<ul style="list-style-type: none">・チーフ補佐・IRB 担当者とライフセーバーとの調整。
導線管理	<ul style="list-style-type: none">・アンクルバンド配布場所と履物、メガネ置場の導線確保・全体の導線管理
アンクルバンド配布受付	<ul style="list-style-type: none">・アンクルバンド配布開始時間の管理・ボランティアへの指示・スキップ受付（スキップ受付担当者と連携）
エイドステーション	<ul style="list-style-type: none">・エイドステーション設置場所の確認とボランティアへの指示
スタート管理	<ul style="list-style-type: none">・スタートエリア内での競技注意事項の連絡・スタート整列・スターター
フィニッシュ管理	<ul style="list-style-type: none">・スイムフィニッシュの補助・最終フィニッシュ選手の後追い
リタイア管理	<ul style="list-style-type: none">・リタイア者の管理（レース No、アンクルバンド、メディカル）
リレーゾーン	<ul style="list-style-type: none">・リレーの管理
スキップスタート	<ul style="list-style-type: none">・スイムスキップスタート管理
水上監視（IRB）	<ul style="list-style-type: none">・レスキューの利用状況及び違反行為の監視・安全管理
水上監視（陸上）	<ul style="list-style-type: none">・安全管理
スキップ受付	<ul style="list-style-type: none">・市体協対応（アンクルバンド配布受付担当連携）
試泳後スキップ管理	<ul style="list-style-type: none">・市体協対応（アンクルバンド配布受付担当連携）スキップ者アンクルバンド管理

導線管理

- ・アンクルバンド配布場所と履物、メガネ置場が離れているため導線の確保を行う。
- ・履物、メガネ置場への案内
履物、メガネ置場へ行く選手については、アンクルバンドを回収し、入場時に再度渡すようにすること。
対応はボランティアによって行うが、方法等の指示を行う。
- ・アンクルバンド配布場所の入り口と出口の管理を行い。競技中に出口より、アンクルバンドを受け取る選手が入らないようにコントロールする。
- ・スタートエリアの計測マットの近くに選手が近づかないように管理する。

アンクルバンド配布/受付

- ・ボランティアに配布開始と招集の指示を行う。
- ・受付時スイムスキップの管理を行う。
スイムスキップについては「スイムスキップについて」を参照。

エイドステーション

- ・エイドステーションの設置場所を確認し、ボランティアと連携する。

スタート管理

- ・スイムスタートエリアの設営を行う。
5名ずつ横に整列できるようにする。
- ・試泳後のスイムスキップ確認
「スイムスキップについて」を参照。
- ・ウォームアップ開始&終了のコール
トラメガにて海上のライフセーバーに開始と終了を通達
- ・選手招集コール（4グループ）およびアンクルバンド確認等の指導を行う。
アンクルバンドおよび、輪ゴムの装着確認。
アンクルバンドはレース終了まで装着することを通達
- ・スタート方法、コース説明およびコンディション・注意事項の説明
「スイム注意事項」を参照
- ・スターター
ウェーブ毎のスタートおよび、ローリングスタート（10秒毎）のスタートを行う。
但し、ウェーブ毎のスタートについては来賓の場合もあるため、「その他」を参照のこと。
- ・試泳後のスイムスキップ確認
スイムスキップについては「スイムスキップについて」を参照。
- ・ウォーミングアップ終了後、スタートするまで選手を計測マットに近づけないようにする。

- ・スタート順に選手を整列させる。
レース No 順に 5 名毎前から整列させる
該当のレース No 選手がいない場合（集合しない場合）は次の選手を整列させ、該当選手は次に回す。
- ・スタート
10 名(5 名 2 列)毎に 10 秒間隔でスタートさせる。スタート時間についてはスイム競技スケジュールを確認
スタート時間は計測マットにより行われるため、多少ずれても良い
ウェーブ最終スタート時間を確認

フィニッシュ管理

- ・スイムフィニッシュ時に選手への注意喚起および、フォローを行う。
マットまで泳ぐように呼びかける。
滑ってフィニッシュ出来ない選手には手を貸す等の対応を行う。
- ・パラの選手は 7 名参加予定。SEA としての役割は無し。必要であれば事前に確認を行う。
- ・1 周回目のスキップ管理を行う。
制限時間に間に合わない、体調が悪そうな場合は、スキップを進める。
スキップの意思を示した場合、体調を確認し問題のある場合は医師の診断を受ける。
スイムスキップについては「スイムスキップについて」を参照。
- ・スロープにリタイア者が運ばれた場合は、リタイア管理を行う。「リタイア管理」を参照。
- ・グループ毎に最終フィニッシュ選手の後追いを行う。
トランジションまでの距離が長い場合、途中で入れ替わる可能性あり。常に最終選手の後ろに付くようにする。（最終選手が途中で追い抜いた場合は、追い抜かれた選手に付くこと。）
また、導線からの逸脱や途中で具合が悪くなっている選手等いないか気を配ること。

リタイア管理

- ・スイムリタイア者のレース No を記録し、アンクルバンドを回収する。
- ・メディカルテントへ案内し、医師の診察を受けるように誘導する。
- ・医師の診断で問題が無く、選手にスキップの意思があれば、スキップについての説明を行い、スキップさせる。スイムスキップについては「スイムスキップについて」を参照。

リレーゾーン

- ・リレーゾーン設置
- ・リレー管理、リレーゾーンでのアンクルバンド受渡等のサポート
- ・リレー選手のアンクルバンド受渡等のサポート
- ・リレーでスイムの選手がリタイアした場合に、アンクルバンドの受渡しができない場合は、予備のアンクルバンドを使用する。
この場合、ネオシステム、チーフにレース No の変更を報告する。

スキップスタート

- ・スキップ選手を招集時間までにスキップスタート場所に招集する。
- ・市体協のスイムスキップ担当者と連携し、アンクルバンドを配布する。
- ・スタート時間に選手とスタートさせる。
- ・スキップスタートした事を無線で報告する。

海上監視（IRB）

- ・レスキューの使用状況やコースのショートカット等の違反行為を監視する。
- ・選手の安全を確認しライフセーバーと連携する。

海上監視（陸上）

- ・選手の安全を確認しライフセーバーと連携する。

スキップ受付

- ・市体協対応

試泳後スキップ管理（スキップ分アンクルバンド管理）

- ・市体協対応

その他

- ・スタータについて
第 1 ウェーブ、第 2 ウェーブは来賓が行う。対応は HR が行う。
- ・ゲストアスリート
庭田選手 第 3 ウェーブ（40～49 男子）でスタート。
- ・以下のリストバンドの選手はなるべく注視して体調等の監視を行う。
黄色（健康相談での要注意者）、緑色（既往症報告者）
- ・タイムテーブルを確認し、時間通りのスタートを心がける。
- ・特に準備中や、レース開始直後等、人手が足りないと考えられるためフレキシブルな対応をお願いします。
- ・試泳ができる方はウェットスーツをお持ちください。また、水に濡れる場合があります。水に濡れても良い服装をお願いします。ただし、必ず TO ポロシャツを上に着ること。

【スイムスキップについて】

1. 受付時スイムスキップ
 - ・市体協担当者より受付時のスイムスキップ選手のリスト受け取る。
 - ・アンクルバンド配布のスタッフと連携しスイムスキップ者のアンクルバンドのピックアップを行う。
 - ・ピックアップしたアンクルバンドは試泳後スイムスキップ受付担当者へ渡す。
 - ・スイムスキップ情報をネオシステム、チーフ、スキップスタート担当者へ報告する。
2. 試泳後スイムスキップ
 - ・試泳中にスイムスキップの申し出があったら、試泳後スイムスキップ担当者へ連携する。
 - ・試泳後スイムスキップ担当者はアンクルバンドの回収とリストの作成を行う。
 - ・スイムスキップ情報をネオシステム、チーフ、スキップスタート担当者へ報告する。
3. 1週目スイムスキップ
 - ・選手からスイム1周回後にスイムスキップの申請があった場合、体調等を確認する。
 - ・問題が無ければ、試泳後スイムスキップ担当者に連携する。
 - ・試泳後スイムスキップ担当者はアンクルバンドの回収とリストの作成を行う。
 - ・スイムスキップ情報をネオシステム、チーフ、スキップスタート担当者へ報告する。
4. リタイア後スイムスキップ
 - ・医師の診断により問題が無い場合は、スイムスキップの意思を確認する。
 - ・スキムスキップの意思がある場合は、アンクルバンドを回収し、試泳後スイムスキップ担当者へ連携する。この時、リタイア者としての報告は行わない。
 - ・試泳後スイムスキップ担当者はリストの作成を行う。
 - ・スイムスキップ情報をネオシステム、チーフ、スキップスタート担当者へ報告する。
5. タイムオーバーのスイムスキップ
 - ・該当グループのスキップスタートに間に合えばスキップを可能とする。

【スイム注意事項】

- ・レース No 順に 10 名(5 名 2 列)ずつ 10 秒置きのローリングスタート。
- ・コースガイド（一周 200m を 2 周回。ブイを右手に見ながら時計回りに周る）
潮の流れ・波の状況などコースコンディションを説明
- ・計測マットを通過した時点でのスタート（計測開始）となるため慌てないように。
- ・レスチューブの装着は認める。
ただし、膨張させた場合はスイム競技を中止する意志であり、すぐに陸に引き揚げる。
スイムスキップは可能
- ・その他、気が付いたこと。

配置一覧 (◎無線)

氏名	主務	兼務	備考
◎元嶋 直子	チーフ		スキップスタート、スロープリタイア報告
◎小林 裕明	サブチーフ	スタート管理	
亀山 秀紀	導線管理 アンクルバンド配布/受付	エイドステーション	
岡本 典子	導線管理 アンクルバンド配布/受付		
亀村 一郎	スタート管理		
登坂 高志	スタート管理		
中丸 明寛	スキップスタート フィニッシュ管理	リレーゾーン	スロープのリタイア管理
平山 和幸	フィニッシュ管理		スロープのリタイア管理 最終選手後追い
◎加藤 一美	リタイア管理		ポンツーン B
鎌下 優一	水上監視 (IRB)		
-	水上監視 (陸上)		
増田、蒲谷	スイムスキップ受付		市体協担当
増田、蒲谷	試泳後スキップ管理		市体協担当

備品一覧

名称	数量	備考・その他
トラメガ	2台	
無線	4台	スイム TO 3台、ライフセーバー無線 1台
ペットボトル&紙コップ		リタイア選手を陸上へピックアップの際の飲料水として準備
レジ袋	3枚	アンクルバンド回収用
回収アンクルバンド収納 Box		
デッキブラシ	2本	
予備キャップ	各色 10枚	
ガムテープ、ロープ等		いつも通りお願いします。
予備ウェットスーツ/ゴーグル		あれば